

第40回清榮祭 有志劇規定

第40代 清榮祭実行委員会 ステージ統括部署

参加を希望する団体及び出場団体は、以下の内容を熟読し、遵守すること。
また、この規定の違反などについて清榮祭実行委員会から指導された場合は速やかに従うこと。従わない場合、その団体の出場資格を剥奪する可能性がある。

1.参加するにあたって

- 第40回清榮祭において劇とは、以下の要素を満たすものを指す。
 - 観客の心を動かすストーリーがあり、それを明確に脚本という形で清榮祭実行委員会に提出できる
 - ストーリーを表現する主要な手段として「言葉」「体の動き」が含まれる※これらを満たしていない場合でも、有志劇枠での出演を希望する場合は清榮祭実行委員会に早急に相談すること。
- 団体名・公演内容が公序良俗に反するもの等は、これらを一切認めない。
→団体名のオマージュに関して、法律に反しかねないと判断されたものに関しては変更を命じることがある。
- 中学生の有志劇出場はできない。
- 1人につきバンド・ダンス・劇のうち合計で2団体までの出場を認める。（他ステージ統括部署の統括する特技披露等の有志舞台に関しては、上記の様な団体数制限はない）
- 有志のダンス・バンド・劇のうちで掛け持ちは自分のキャパシティと相談して無理のない範囲で行わなければならない。
- テーマを各団体に一任し、公序良俗の範囲内で**新しいストーリーをつくる、既存の話をオマージュもしくは尺を圧縮して独自の劇を創り上げる**こと。ただし、既存の作品をオマージュまたは圧縮して脚本を作成する場合、以下のような改変は認めない。
 - 原作の主題やメッセージを大きく逸脱するもの
 - 原作の評価を不当に損なうおそれのある表現、または不適切な改変
- 高校有志劇は最大4団体までとし、申請団体数が制限を超えた場合には抽選を行う。
→万が一有志劇団員が全員抽選に来れない場合は代理として担当文実をお願いすること。原則、有志劇団員が参加すること。
- 団体の人数上限は設けない。ただし、運営上の安全確保および進行に支障をきたすと判断された場合、清榮祭実行委員会より人数の調整を求めることがある。
- 団体の代表者を1名決めること。
- 参加を希望する団体には1団体につき、ステージ統括部署の清榮祭実行委員から、「担当文実」を設ける。
- 担当文実の業務は以下記載のものとする。

- 顧問する担当団体の撮影・リハーサル・本番時の監督
- 練習中・公演中の体調不良時の救護
- 顧問する担当団体の撮影動画の確認
- 化粧・衣装の確認
- 担当文実が何らかの理由でリハーサル等、業務ができない場合、当該の有志団体の担当文実の業務はステージ統括部署担当教員が行う。
- 出場団体の代表者は、予め告知される撮影・リハーサル・本番の時間帯をあらかじめ担当文実知らせておき、清榮祭実行委員による点呼までにメンバーを揃えなければならない。
- 出場団体の代表者だけでなく出場団体のメンバーすべてが「第40回清榮祭 有志劇規定」（以下、本規定）の内容を理解していなければならない。
- 広告用のポスターを作成する場合、掲載情報収集フォームに回答すること。ポスターは文化祭当日に校舎内に掲示する。また、クラスルームにも配信する。

2.注意事項

- 有志舞台であるダンス・バンド等との公平性を保つべく、予算は出さない。
- 劇団体において、ステージ及び備品を傷つける恐れのあるアクロバティックな動き、またはそれと同等に危険性のあるパフォーマンスを禁止する。
- リハーサルの際、公演の中に上記の動きが含まれていないか判断する。
- 出場団体は、清榮祭実行委員にあらかじめ公演内容を伝えておくこと。
- 観客に、公演に参加して貰う場合は、清榮祭実行委員に伝えること。
- 事前に観客と打ち合わせをする（サクラを仕込む）場合、その観客も団体メンバーに含めること。
- 当日の衣装・化粧に関しては清榮祭実行委員ステージ統括部署の作成する「 第40回清榮祭 服飾規定.pdf」を参照して、購入ないしは作成すること。
- リハーサルや前日の準備等の集合に無断でメンバー全員が欠席した団体は、公演を不可とする。
- 清榮祭実行委員及び教員に指示を受けた場合、速やかに従うこと。
- SNS等を用いた広報活動は自由とするが、鍵付きアカウントであっても流出の可能性があることに留意し、公序良俗に反しない内容での投稿およびプライバシー対策を各団体で講じること。また、校内で校則違反の機器（スマホ等）を用いて撮影する行為を禁止する。

3.公演について

- 公演時間は1団体当たり2日間合計で50分程度を目安とする。ただし、演目の性質上延長が必要な場合、全出場団体間での合意と清榮祭実行委員会の承認を条件とし

て、時間枠の柔軟な調整（二日分の枠の統合や公演時間の延長などを含む）を認める。希望団体は速やかに規定下部記載の連絡先に相談すること。

※司会の紹介などは含みません

※時間内であれば短くても構いません

※練習の進捗を踏まえ公演時間が分かり次第、想定公演時間をステージ統括部署員にまで伝えること。（タイムテーブル調整のため）

- 会場は体育館とする。
- 出演予定時間の20分前には着替えを済ませた状態で卓球場に集合しておくこと。
- 集合できなかった場合、その日の公演を中止とする。
- ステージに向かう動線については後ほど連絡する。清榮祭実行委員に従うこと。
- 制服に着替えてから各々清榮祭を楽しむこと。
- 衣装は各々で準備すること。また衣装以外に劇に必要な私物（メイク等）は持ってきて構わない。ただし発表以外では使用することがないように徹底すること。
- 簡単な服装変更を劇の途中に行ってもよい。ただし、追加・変更される全ての衣装は、服飾規定に基づく事前チェックを必ず受けておくこと。
- その他、イス・机を用いたい場合も事前に、必ず本規定の最後に記載してある担当者（JH2-5 勝村）のメールアドレスまで報告すること。

4.準備に関して

文化祭準備期間中の朝礼から終礼までの間、原則として学校内での準備時間及びスペースは設けない。

i) 大道具・小道具・衣装等の作成について

- 特に大道具に関して、学校以外場で作成し、学校に持ち込むことが難しい場合にはフォームに申請し、準備期間の朝と放課後を利用して作成すること。
- 放課後や朝の時間における大道具、小道具含むすべての準備を許可する。
使用場所は卓球場とする。また、舞台上や舞台袖に設置する大道具は、上手外側もしくは舞台から直接搬入可能なサイズで設計すること。
- 準備は必ず教員の立ち会いのもと行うこと。
- 体育館内での火気の使用や火の元となるようなものは危険なため禁止とする。
- その他備品の使用、美化に関することは、「 第40回清榮祭 美化規定.pdf」を参照すること。
- 作業時は熱中症を避けるために、こまめな水分補給をすること。喉が渴いたと感じる前からの水分補給を徹底すること。
- 不具合、疑問点などがある場合は、すぐに団体顧問かステージ統括部署所属の清榮祭実行委員に相談すること。

ii) 演技の練習に関して

- 練習場所は、体育館舞台、リズム館前広場、中学棟増設部分奥の広場、リズム館の広場、庭大和、体育館前、中学棟増設部分木のタイル上、書道部の活動場所の横(書道部活動日以外)およびその他許可された場所とする。（※放課後の舞台練習時間は団体間で調整枠を設ける）。練習時は事故防止のため、常に教員を呼びに行ける環境（職員室至近など）を確保すること。

- 練習時間は原則朝もしくは放課後とし、文化祭準備期間の朝礼～終礼までの時間での練習が見受けられた際には注意や出場権の剥奪を行うことがある。
- 体育館舞台に関しては決められた時間を守って使用すること。
- 練習は、基本的には上記に指定する場所で、時間を守って行うこと。校内の指定外の場所で練習を行いたい場合はステージ統括部署に相談して許可を得ること。
- その他、教員に注意や指示を受けた場合は速やかに従うこと。
- 演技練習中であれば、衣装での練習を許可するが、希望する場合はステージ統括部署までその旨を申請して許可を得ること。また、衣装のまま劇に関係のないことをしていた場合棄権とみなす。
- こまめに水分補給を行うこと。
- 活動できる場所は限られている。争うことなくすみ分けて練習すること。
- 事故や怪我、体調不良が生じた場合は、その大小にかかわらず団体顧問または担任に連絡し、養護教諭の指示を仰ぐこと。
- 日向、風通しの悪い場所での活動は避けること。
- 部活、通行人の邪魔にならないように活動すること。

5. 音源・脚本に関して

- 音源説明会の内容を遵守すること。
- 音源は基本的にフリー素材、その他購入する音源は清榮祭実行委員へ伝えること。
- 各団体から音響担当者（音源のスタート・ストップの担当者）を最低1名出すこと。
- 使用音源については著作権チェックを行う。
- 個人のCDや購入した音源データ等を使用してもよい。ただし、購入費用を巡って団体内で金銭トラブルが起きないように十分に注意し、合意の上で管理すること。
- 脚本の内容が公序良俗に反していないか確認するために7/18(土)までに清榮祭実行委員及び部署担当教員・団体顧問に提出し、確認してもらうこと。
- 提出方法は、下記のステージ統括部署のメールアドレスに脚本を共有することとする。
- 提出された脚本は、担当の清榮祭実行委員から脚本チェックを担当する先生方にも共有されるので知っておくこと。
- 文化祭当日の時点で脚本提出をしていないもしくは脚本の内容が不適切と判断されても修正がなされていない、または修正版で許可が出ていない場合は出場権を剥奪する。
- 脚本チェックは劇担当の清榮祭実行委員及び、中学縦割り劇担当の教員で行う。
- 脚本の確認後、実行委員会より必ず「合格・不合格」の通知を行う。不合格の場合は理由を添えて差し戻し、修正を求めるので、修正して再提出すること。当日までに許可が出なかった場合、その団体の出場権を剥奪する。

6. 照明に関して

- 2階のギャラリーに設置されているライトを使用する。
左右に1台ずつ、計2台ある。セロファン等を被せて、照明の色を調節しても良い。
- 照明は、舞台全体や客席の照明（それぞれ、舞台全体でON/OFF、客席全体でON/OFFの切り替えが可能）と、2階のスポットライト2台を使用できる。
- 照明の切り替えについても、希望する場合は各団体から担当者を出すこと。
- プロジェクターを用いて背景や映像などを投影することもできる。希望する場合は各団体からプロジェクター操作の担当者を最低1名出すこと。

規定に関する質問や個別対応（公演時間・劇の定義についてなど）等あれば、
ステージ統括部署（2026seiei-stage@edu.nishiyamato.ed.jp）まで

本規定は変更となる場合がある。その際は随時清榮祭実行委員から連絡する。